

## 指定管理者管理運営状況評価

評価対象施設	県民活動総合センター
指定管理者	公益財団法人いきいき埼玉
評価対象年度	平成28年度
施設所管課	共助社会づくり課

評価項目	細項目	評価	コメント
利用者の 安心・安全、 平等利用の 確保	安全性の確保	A	危機管理マニュアル等を備え、消防計画に基づき委託業者を含む全職員参加の避難訓練等を実施し、緊急の事態に備えた。
	法令等の遵守	A	消防設備保守点検などの法定点検業務を適切に行っている。
	平等利用の確保	A	許可手続は適切に行われている。
施設の設置 目的の達成	事業の実施	A	目標値200講座以上等に対し、218講座等を実施した。県民のニーズに対応した講座を実施し、受講者の満足度は、97.1%と高いものであった。
	利用状況	A	利用者数は741,432人で、前年度より9,215人(▲1.2%)、目標値より35,568人(▲4.7%)下回った。
	適切な管理の 履行	A	基本協定書及び年度協定書に基づき適切に管理を行っている。また、警備や清掃などについても再委託業者を適切に指導し、適正に履行した。
	財産の適切な 管理	A	建物や設備の修繕は、利用者の利用状況を勘案し、修繕時期を設定して実施するなど、利用者を第一に考え適切に行われた。また、不要な備品を適宜処分するなど、適正に管理を行った。
利用者サービス の向上	サービス内容の向上	A	第一研修室のカーペット面積を増やしダンス・ヨガ等の利用者に提供したほか、物品販売・宣伝での利用等、ニーズに対応した貸室の用途拡大や、地域と連携したイベントを開催するなどサービスの向上に努めた。
	利用者の満足度	A	利用者アンケートでは、90.3%の方が、講座受講者アンケートでは97.1%の方が満足と回答しており、両方とも目標を上回る適正な状態である。
安定した経営 基盤	適正な財務状況の 確保	A	利用料金収入は128,555千円で、前年度2,067千円、目標額を6,555千円上回り、適正な状態である。
総合評価		A	適切に管理運営が行われた。

特記事項	特に評価すべき点	いきがい大学の学生数減少、改修工事等が利用者数減少の要因となったが、財団全体で広報・営業活動に取り組んだこと等により、収入は過去最高となった。
	次年度に向けて 改善が望まれる点	平成29年度においても改修工事が予定されているが、管理目標の利用者数が達成されるよう引き続き努められたい。